

令和 2年度

事務事業評価表 ( 令和元年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 17 日

事務事業名		定住促進助成金交付事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050202000957
						単独/補助	単独	所属課	060201 都市整備課
政策体系	総合計画の施策名	0502 景観の良い住環境の保全						課長名	
	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり						グループ	都市政策G
	施策名	02 景観の良い住環境の保全						担当者名	
	手段名	02 ②定住・空き家支援の推進							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	08	04	01	02	00	都市計画総務事業		
法令根拠	桜川市定住促進助成金交付要綱				期間限定複数年 (平成27年度～令和2年度)				
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)				← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 桜川市の定住人口の増加を図るとともに、地域の活性化に資するため、市内に定住する意思を持って住宅の取得をする市外転入者に対し、予算の範囲内で定住促進助成金 (以下「助成金」という。) を交付する。 対象者は、20～45歳までで、初めて桜川市に転入するか、転出後1年以上経過したのち再び転入した市民 (ただし、空家バンクを利用して住宅を取得した場合は、年齢制限の上限はなし)。平成27年4月1日から交付申請日が属する年度の3月31日までの間に住宅を取得して不動産登記した場合に限られる。新築住宅に30万円、中古住宅に15万円を支給する。新婚世帯や子育て世帯の場合は、20万円が加算される。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・広報誌や金融機関等への広報活動 ・対象者要件の確認、相談 ・申請受付 ・申請書類の審査、交付決定及び通知 ・交付事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)		
			定住促進助成金申請件数	件	32.00	30.00	30.00	0.00	0.00
			・広報誌や金融機関等への広報活動 ・対象者要件の確認、相談 ・申請受付 ・申請書類の審査、交付決定及び通知 ・交付事務		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)		
			IターンまたはUターンで桜川市に転入し、定住しようと考えている人。	件	40.00	35.00	40.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)		
			桜川市で住宅を取得した受給対象者が定住する。	人	92.00	90.00	90.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
					0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金 千円	4,500	4,185	6,750	24,660
		県支出金 千円	0	0	0	0
		地方債 千円	0	0	0	0
		使用料・手数料 千円	0	0	0	0
		その他 千円	0	0	0	0
		一般財源 千円	10,350	9,715	8,250	35,190
	事業費計 (A) 千円	14,850	13,900	15,000	59,850	
	正規職員従事人数 人	3.00人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	19 負担金補助及び交付金	13,900	19 負担金補助及び交付金	15,000
		合計	13,900	合計

事務事業名	定住促進助成金交付事業	事務事業No.	50202000957	所属課	都市整備課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 桜川市では人口減少が進んでおり、合併後も年間約600人ずつ減少している。この人口減少に歯止めをかけ、定住人口の増加を図るための事業。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 人口減少は、全国的なものではあるが、少しでも現象の度合いを少なくするには有効な施策と思われる。 当該交付金該当者からは、桜川市に定住するにあたり有り難い施策との意見有。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市へUターン・Iターンを考えている市民にとっては、結果に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 初期投資としての税金投入ではあるが、定住することによる人口の増加、又は地域の活性化に繋がります。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 更に3年間継続で令和2年度までの事業となり、成果の維持を保てることとなり順調に事業が進んでいる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 期間限定として事業展開してきたが、事業廃止後の転入者の動向に影響しそうです。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 現在として類似事業がありません。しかし、期間限定事業ではありますが、他市町村が類似事業を立ち上げる等しており、事業精査が必要となります。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 現在の所、削減の余地は考えられない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 現状としては、公正・公平と思われませんが、今後事業継続が有るのであれば、再確認が必要と思います。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	平成29年度で3年間の事業が完了したが、更に令和2年度までの3年間継続となり、申請件数も多く有効な事業である。Iターン、Uターン者の定住を促進することで人口減少の歯止めに寄与できればと考えている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加			○												
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
		○																								
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ⑥																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認